

# 基礎化学1 無機化学分野 イントロダクション

担当：西條 純一（29号館1104号室）

# 成績評価について

- ・試験(対面授業が無いため, 自宅でのレポート形式)  
毎週の課題と同等の難易度とってください。
- ・課題(各回3点×6回, 計18点)  
各回の講義内容に関する問題. 次週返却.  
講義「翌々日」(木曜)夜までに提出(期日厳守!)  
提出先: 明星LMSで提出. メールでの提出も一応OK  
※出すだけで点が付くわけではありません  
※今年は, レポートの提出を出席とします
- ・出席そのものは点数を付ける際には考慮しません.  
出席してても出来が悪ければ問答無用で落ちます.

## 基本となるテキスト

『シュライバー・アトキンス 無機化学(上)』

第六版(第四版でも可), 東京化学同人

※講義資料は公開するので, 無くてもそこそこ何とかなる(多分)

課題と試験の合計点 (Max60点ちょっと?) を50点満点にして (50点以上だった人は, 50点として計算), 分析化学分野の得点 (50点満点) と合計して成績を付けます.

なお, 課題及び講義資料 (今ここに写しているPowerPointをPDF化したもの) に関しては, 以下のwebページでも公開しています. アドレスはシラバスにも記載.  
(ファイルは明星LMSにも掲載)

<http://www.molecularscience.jp/lecture/index.html>

課題の回答もwebにアップロードする関係上、休んだ場合の救済措置はありません(公欠などの場合も)。

ただし、期日前であれば講義をやる前でも提出して構わないので、公欠などがあらかじめわかっている場合には前もって自習して課題をやって提出するのはOK。

急な用事等で大学に来られない場合(忌引きなど)には、メールへの添付ファイル等での提出も認めます。ただし提出期限は変わりませんので、早めに提出を。  
(緊急の場合以外はメールでの提出は不可ですので、ちゃんと部屋のポストに提出して下さい)

⇒ 今年はLMSおよびメールでの提出のみになりました。

試験について

無機化学分野の期末試験は約40点満点です。

難易度的には課題と同程度ですので、課題が自力で解ける人はだいたい解けます。

ただし、課題と全く同じ問題は出しませんので、毎回の課題で考え方をちゃんと理解しておかないと落ちます。

教科書、ノート、課題など紙媒体のものは何でも持ち込み可。電卓も可。携帯やPC等の通信機能を持つものは当然ながら持ち込み不可。

→ 今年には自宅でのレポート形式なので、何見てもOK

講義に関して



講義は『シュライバー・アトキンス 無機化学』をもとに行いますが、(当たり前ですが)一言一句そのまま読んでいくわけではありません。

重要なところは適宜話を付け加えますし、細かい部分は飛ばすこともあります。講義中に飛ばされた部分などに関して質問があれば、授業中などに随時質問を受け付けますので、聞いてください。

この講義で使うのは上巻のみですが、今後の無機化学系の講義は全てこの本をもとに行いますので、化学系の講義をとっていくつもりの方は上下巻セットで購入する事を勧めます。

講義のプレゼン用ファイル(PDF化したもの)と  
レポート課題を, 以下のページで公開します.

※webでの公開のみ. 紙での配布はしません.

<http://www.molecularscience.jp/lecture/>

※明星LMS上でも同じものを公開

事前にダウンロードや印刷しておく,  
(基本的には)ノート無しでも何とかかなると思います.

(6~8ページ/A4程度の割付印刷推奨)

講義時間内に必死でノートに写すよりは,  
講義を聞く事に集中したほうがよく頭に入る  
.....かも知れません.

(全部自分で写すと, 時間が足りない可能性あり)

講義の最中であっても、質問はいつでもしていただいてかまいません。

こちらからは、「ちゃんと理解出来ているか？」といったところを懇切丁寧に確認したりはしません。

不明な点や、良く理解出来ない点、疑問などがあれば、その場でかまいませんので聞いてください。

「学生が理解してるか確認してくれるだろう」とか、「わかってない場合は察してくれるだろう」と言うような甘い考えは忘れてください。質問がなければ、こちらとしては「理解出来た」と言う前提で話を進めます。聞き流していて単位を落とした、なんてところまでは責任を持ってません。

なお、大学の講義に関しては、

- ・講義時間

に対し

- ・その倍程度の自宅での予習復習

が想定されています。

つまり予習復習しない人間が授業について行けず単位を落としてもそれは自業自得だ、という方針で講義が行われています。

講義だけで全てが理解出来ると思わずに、きちんと自分で予習復習をしてください(わからないところは自力で調べることも必要)。

初回の講義(今日)は, このイントロダクションに引き続き  
第9回の講義(無機化学分野第1回)の講義を行います.